

平成23年度「石狩市教育委員会外部評価委員会」会議録

日 時 平成23年10月5日（水）13:30～

会 場 石狩市役所 403 会議室

出席者（3名）

氏 名	役 職 等	備 考
村瀬 千樫	北海道教育大学 教員免許状更新講習コーディネーター	委員長
田中 好之	石狩市退職校長会 副会長	副委員長
木村 純	北海道大学 高等教育推進機構 教授	

事務局（3名）

氏 名	役 職 等	備 考
三国 義達	生涯学習部長	
上田 均	生涯学習部総務企画課長	
吉田 雅人	生涯学習部総務企画課総務企画担当主査	

1. 開会挨拶

2. 開 会

(1)議 事

教育委員会の点検・評価報告書（平成22年度分）案について

①教育委員会点検・評価報告書案に対する意見の取りまとめについて

村瀬委員長

それでは、議事に入りたいので、よろしくお願いします。

お手元の次第に沿って進めたい。

議題の「石狩市教育委員会点検・評価報告書（平成 22 年度分）案」について、事務局よりご説明願う。

事務局

（報告書案についての概略等の説明）

- ・原案の内容（教育委員会の活動、事務・事業、事業評価シートについて）
- ・外部評価委員に審議を依頼する事項について

村瀬委員長

今、事務局から説明あったが、この委員会は、108 ページ以降にある、点検・評価に対する教育に関する学識経験者の意見欄に記載する意見を取りまとめることが目的。

また、この報告書は大きく二つに分けて、「教育委員会の活動状況について」と「教育に関する事業」があり、前者については、2 項目、後者については、11 項目の合計 13 項目に分類されている。事前に報告書案が私たち委員のもとに送付され、各委員は目を通していると思う。それぞれ、意見などを考えてきて頂いていると思うが、一項目ずつに、質疑、そして各委員の意見を伺って、取りまとめをしていきたい。よろしいか。

（異議なしの声）

村瀬委員長

それでは、早速進めたい。

1 教育委員会会議等の活動状況に関する点検及び評価について

田中委員

会議開催回数も数多く行われており、審議事項も多岐にわたり、多忙な様子が良くわかる。

木村委員

会議の開催回数などは、田中委員と同様の感想を持った。全体としては、基本的な考え方として、教育委員会、教育行政が市民のために何でもお膳立てするのではなく、市民が主体的に地域の教育の課題を自分で考え、色々な形で学校の支援とか取り組んでいくのが望ましいと思う。その点を評価のポイントと考えているので、教育委員の方たちが、ご自身も研修されていて、熱心に議論されているので、もう少し市民の方たちが、教育課題に

ついて共有するような場を積極的に設けるようなことをされたらのいいのではないかと思う。

村瀬委員長

「新教育プラン」を確実に推進するため、審議・協議や教育現場への視察などを重ねていることは高く評価でき、今後も石狩市の教育の一層の充実発展のために密度濃く、継続してこれらの活動を続けることを望みたい。

事務局

確認させていただきたいが、（教育委員会会議を通じた教育課題の市民との共有について）例えば教育委員会会議そのものを外に持っていくとか、人の目に触れるという手法もあるが、市民が主体となって教育行政そのものに関心を持ってもらう、または議論に参加するという事で考えると、教育関連のシンポジウムやフォーラムなどに参加してもらって参加しやすいテーマを設定して、市の教育行政への関心や造詣を培ってもらうというような手法なども含むという意味か。

木村委員

そういう趣旨で発言した。

（上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。）

1 教育委員会会議等の活動状況に関する点検及び評価

開催状況について（回数・案件・審議内容等）
「新教育プラン」等を確実に推進するため、数多くの会議を開催し、誠実な論議が行われていることが高く評価できる。
今後の会議のあり方について（回数・方式・案件内容等）
石狩市の教育の一層の充実発展のために、今後も教育委員会の審議内容等の広報を充実するなど、市民が教育行政に関心を持ち、参加意識が高まるような工夫も期待したい。

2 教育委員会会議以外の主な活動状況について

田中委員

関係機関との交流、意見交換会、学習会など多くの活動が行われた様子がよくわかる。特に、13回にも及ぶ現場訪問など積極的な活動の様子に努力を感じる。

木村委員

社会教育委員との意見交換が実施されたことは、地域の教育課題を把握する上で適切で

あった。また、委員の研修・学習が継続的に取り組まれていることがうかがわれ、評価できる。

今後は、社会教育委員など教育関係審議会委員との意見交換については継続してほしい。討論すべき課題を明らかにしながら実施して、それ自体を市民の地域の教育課題を理解する学習の場と位置づけることもできる。

村瀬委員長

多様な公務活動のほか、情報発信の活動、各種団体・行事への積極的な参加、教育現場への施設訪問など、地域、市民に密着したきめ細かい諸活動は高く評価できる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

2 教育委員会会議以外の主な活動状況について

活動状況について（回数・活動内容等）
多様な公務活動のほか、情報発信の活動、各種団体・行事への積極的な参加、教育現場への訪問、社会教育委員との意見交換など、地域、市民に密着したきめ細かい諸活動は高く評価できる。
今後の活動のあり方について（回数・方式・活動内容等）
社会教育委員との意見交換等を継続するなど、地域の教育課題を市民と教育委員、社会教育委員等が共有できるような場の充実を期待する。

3 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実」について、各委員に意見をお願いしたい。

木村委員

報告書案に数値が載っているが、学力向上サポーターの延べ活動時間、加配教員数、エキスパート・サポーターの配置、道費外部指導者の増加が進んだことは評価できる。

一方、SATが平成21年度より減っているのは、計画として減ったのか。それとも、残念ながら減ってしまったのか。後者ならば、大学との協議が必要かと考える。

若葉・双葉小の学校図書館の貸出し数増加がめざましいが、何が理由か。また、学校図書館図書標準の達成小学校数が低下している理由と今後の方向についてはどうか。

事務局

13 ページの表のとおり、SATは人数、配置学校数が減った。SATは札幌教育大、藤女子大などの大学生を中心に学校での授業補助に入る事業だが、教育大については、学生

の交通の便があまり良くないこと、活動が単位修得につながっていて、石狩以外の周辺の市町村や学校にも選択肢があり、人数が減ってしまっている。

双葉小の学校図書館については、専属の司書を先行して配置し、司書を中心に子どもへの働きかけ、先生への支援、選書や蔵書の整理などを行ったことにより、貸出数増などにつながった。双葉小はモデル事業として実施しており、平成 23 年度は南線小などにも拡大している。司書の人選にも気を遣い、司書自身の手腕も大きかった。

学校図書館図書標準については、毎年、継続して蔵書を購入しているが、学校の蔵書自体が古いものも多く、それらの廃棄により整備率が下がってしまった。

村瀬委員長

学校図書館司書を配置するなど、子どもたちの読書意欲を高め、本に触れる機会の増加を図る活動は評価できる。

小学校専属の A L T の招致や小学校外国語活動に向けた支援体制は評価でき、今後も充実を図ることを期待したい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

平成 22 年度の取組状況について
学力向上サポーター（スーパー S A T）の延べ活動時間や加配教員数、エキスパート・サポーターの配置、道費外部指導者の増加等が進んだことは評価できる。 また、専属の学校図書館司書を配置するなど、子どもたちの読書意欲を高め、本に触れる機会の増加を図る活動は評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
小学校外国語活動に向けた支援体制は評価できる。今後も小学校専属の A L T の招致など様々な学校支援体制の充実を期待したい。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実」に移りたい。

木村委員

特別支援教育支援員の配置が増加したこと、市主催の特別支援教育関連講座の参加学校数が増加したことは評価できる。

村瀬委員長

特別支援教育支援員の配置を増やしたことや地域コーディネーターを学校に派遣するなどの活動は評価できる。

今後も、これらの成果を検証しながら、事業を充実していくことを期待する。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にした教育活動の充実

平成 22 年度の取組状況について
特別支援教育支援員の配置数の増加や地域コーディネーターの学校派遣などの活動、特別支援教育関連講座の参加学校数が増加したことは評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
今後も特別支援教育支援員の配置などの効果を検証しながら、更なる取組の充実を期待する。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進」に移りたい。

木村委員

教職員サマーセミナー等、研究・研修活動の充実が認められるが、平成 20 年度と 22 年度では参加率(71%)は増加していない。80%にするのは困難ではないか。参加教員の事後評価の実施とその分析はしているのか。

事務局

原案の 67 ページに、参加率の推移が出ているが、開催時期あるいは、講座の内容（テーマ性）が参加率に影響すると考えており、平成 22 年度についても参加した先生にアンケートを行ったが、開催時期については、85%ぐらいが「よい」と答えているものの、「中学校の部活指導と重なってしまう」という意見が多かったこと、「受たい講座と校務の空いている時間が合わなかったのもっと早めに研修のスケジュールを周知して欲しい」という意見が比較的多かった。その点を反省材料と受け止めた。講座の内容については、95%の参加者から「満足している」と回答があった。教育実践に役立ちそうかという質問では、92%が「はい」と答えている。それらを踏まえ、平成 23 年度については、早めにスケジュールを周知するとともに、22 年度に参加希望の多かったフィールドワーク（石狩の自然や文化財など地元を知り、子どもたちの総合学習でも活用できる地域資源の視察・体験、または、食育の観点からミニトマトの収穫体験をするなど）を取り入れるなどした結果、参加率が 75%に上昇しており、80%が実現不可能とは考えていない。

木村委員

きちんとやっていることがわかったので、事業を評価し、課題を分析し、以後に生かしているというところを評価したい。

村瀬委員長

学校のICT活用の導入は、学力向上等に欠くことのできないことであり、そのための教員研修を種々行っていることは評価できる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

平成 22 年度の取組状況について
教職員サマーセミナーなどの研究・研修活動や学校のICT活用の導入に関連した教員研修など、種々行っていることは評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
研修参加率の向上を目指し、受講者の意見を聴くなど、事業の分析評価を行い、次年度の事業計画に反映させるなどの取組を今後も継続していくことを期待する。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実」にいきます。各委員に意見を発表していただきたい。

木村委員

緊急マニュアル作成、不審者対応訓練実施率の向上が認められること、情報セキュリティマニュアルの運用が100%達成されたこと、地産地消の学校給食など積極的な取組が評価できる。

ただ、マニュアルがあることと、それがきちんと守られることは違うので、そこが大切だ。

村瀬委員長

安全な学校づくりを目指した学校の耐震化に係る環境整備は、早急に取り組まなければならない課題であり、その対応は評価できる。

今後については、安全な学校づくり、特に学校の耐震化の事業を推進していく努力をしてもらいたい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

平成 22 年度の取組状況について
安全な学校づくりを目指した学校の耐震化に係る環境整備は、早急に取り組まなければならない課題であり、その対応は評価できる。

分析・評価及び今後の方向性について

防災対策をはじめとした安全な学校づくりに向け、学校施設の耐震化を今後とも計画的に進めるとともに、緊急時の対応マニュアルが着実に実施されることを期待する。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進」について、お願いする。

木村委員

体験活動や「朝の読書」等の定着が認められる。また、子どもの読書活動についても努力が評価できるが、中学校では必ずしも成果が認められていない。いじめの認知件数の減少も評価できる。その評価を市民とともに共有することも重要。

村瀬委員長

児童生徒の「いじめ」防止の取組は、専門的なスタッフや相談員が教育支援センターにおいて対応するなど評価できる。今後も絶えず緊張感を持って努力してほしい。

田中委員

不登校児童生徒に関する指導は、教育支援センターで様々な展開がされているが、石狩管内他市町村と積極的交流を深め多彩な活動を展開することが望ましいが、実態はどうか。

事務局

不登校対応関連では、例えば、適応指導教室が管内では、石狩市、恵庭市、千歳市、北広島市にあり、これらが連携して、通級する子どもたちのミニバレーや百人一首など、交流事業を実施しており、指導員をはじめ、担当職員間の情報交換会が実施されている。

（上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。）

施策（大項目）5 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

平成 22 年度の取組状況について

教育支援センターを設置し、支援体制強化を図り、いじめなどに対するきめ細やかな予防策を行っていることは評価できる。今後も絶えず緊張感を持って努力してほしい。

また、体験活動や「朝の読書」等の定着が認められ、子どもの読書活動推進の取組なども評価できる。

分析・評価及び今後の方向性について

読書活動推進の取組やその成果が、様々な広報活動などを通じて中学生、更には市民も含め、全市的に普及拡大することが期待される。

不登校児童生徒の対応については、他の自治体の子どもたちや支援スタッフと連携した取組の効果が見込まれることから、今後とも積極的に交流を深めてもらいたい。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進」に移る。

木村委員

ソフトボール協会との連携、市民スポーツまつりへの児童・生徒の参加など、市民との協働が取り組まれたことは評価できる。栄養教諭の派遣指導の前進が認められる。

市民の継続的にスポーツを行っている割合が10ポイントも増えている要因は、何かの関連する事業を行っているのか。

事務局

関連があると思われる取組としては、「ウォーキング事業」が思い当たる。石狩は盛んで、いくつかモデル町内会などもある。このような取組が影響した可能性が推察される。

村瀬委員長

携帯電話やインターネットなどに関わる情報モラルについての啓発活動は、今後とも大切であり、継続した取組を期待したい。

（上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。）

施策（大項目）6 心身の健やかな成長を促す教育の推進

平成22年度の取組状況について

スポーツ団体等との連携など、市民との協働で子どもの体力・運動能力向上に向けた活動が取り組まれたことは評価できる。

分析・評価及び今後の方向性について

携帯電話やインターネットなどにかかわる情報モラルについての啓発活動は、今後とも大切であり、継続した取組を期待する。

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援」について、

各委員に意見を発表していただきたい。

木村委員

CAPプログラムが順調に実施されていることが認められる。こども 110 番いしかりサポート事業や「スクールガード」「声かけ運動」では、市民の協力の広がりが見られる。市民の参加意識の高まりを定着させる活動が期待される。

田中委員

「あい風寺子屋事業」は、新しいスタイルの地域で子どもを見守り育てるシステムであり、展望の持てる地域活動であるが、協力スタッフを地域で育て組織することが大切である。

国のモデル事業で、国からの補助がなくなるかも知れないという話も聞いているが、国や道などが指定する事業であっても、地域に歓迎され根付くような活動については、市独自で費用を負担するなど継続に努めて欲しい。

こども 110 番いしかりサポート事業については、登録しただけではなく、実質的に機能できる場所がどのくらいあるかの検証も必要だ。

事務局

ご指摘のとおりと受けとめており、報告書にも今後の方向性としてその視点を一部記載している。

村瀬委員長

子どもたちの安全を守る「スクールガード」や「声かけ運動」などの活動は充実した取組として評価できる。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）7 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

平成 22 年度の取組状況について
子どもたちの安全を守る「スクールガード」や「声かけ運動」などの活動は、市民の協力による充実した取組として評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
あい風寺子屋事業に代表される、新しいスタイルの地域で子どもを見守り育てるシステムは展望の持てる地域活動であり、一層の充実を期待したい。

=====

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実」について、各委員に意見を発表していただきたい。

田中委員

市民カレッジは、運営スタッフも力を傾注した素晴らしい活動であり、集まる市民も一生懸命で見事な活動である。今後も講座の充実を期待したい。

木村委員

いしかり市民カレッジが市民ボランティアとの協働によって、着実に前進していることが評価できる。学習機会の運営について、参加者の主体性の発揮を目標としていることは評価できる。市民カレッジは、市民主体の取組として全国的にその成果を発信することにより、市民がその成果を共有すべきである。そのことにより受講者が増加し、講師の協力も得やすくなる。社会教育主事ほか生涯学習の関連職員について専門性をより高めるための研修も重要である。

村瀬委員長

新しい学びの場の提供や市民主役の新しい生涯学習の推進は、市民の学びの意欲を喚起し、学習機会の充実を図るものとして高く評価できる。

石狩市学び交流センターには、特別支援学校が併設されており、「教育と福祉の連携」の複合施設として高く評価できる。今後、施設の特徴を生かした活動の充実を期待したい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）8 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

平成 22 年度の取組状況について
いしかり市民カレッジが市民ボランティアとの協働によって着実に前進するなど、新しい学びの場の提供や市民主役の新しい生涯学習の推進は、市民の学びの意欲を喚起し、学習機会の充実を図るものとして高く評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
市民カレッジについては、市民主体の取組として全国的にその成果を発信し、市民とその成果を共有することが大切であり、一層の充実を期待したい。 社会教育主事ほか、生涯学習の関連職員の研修を行うなど、専門性を高めていくことを期待する。

=====
村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実」について、お願いする。

木村委員

図書館講座など、図書館としての積極的な生涯学習への参画が行われ、内容も魅力的で

ある。ただ、利用登録者の目標値との差が広がったので、計画的な取組が必要である。31%から除籍して、21%になってしまった。35%にするのは大変だと思われる。また、図書館職員の専門性を高めるため、研修参加についても重視すべきである。

事務局

ご指摘のとおり、登録をしてから利用していない「登録済未利用者」を除いていくと、数がどんどん減ってってしまうという状況にある。そして、利用者一人当たりの貸出数は増えていて、図書館サービス利用者の特定化が進んでいるとも考えられる。

村瀬委員長

図書館講座や各種啓発活動は、市民の生涯学習や文化を創造するものとして評価できる。今後一層、市民へのサービス、啓発に努めることを期待したい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）9 学習の拠点としての図書館サービスの充実

平成 22 年度の取組状況について
図書館が行う講座や各種啓発活動は、内容も魅力的であり、市民の生涯学習や文化を創造するものとして評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
利用者一人当たりの貸出数は増えているものの、利用登録者数については、目標値との差が広がっているので、計画的な取組が必要である。 また、図書館職員等の研修参加など、その専門性をより高めていくことを期待する。

=====

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援」に移りたい。

木村委員

市民文化祭など、文化事業を市民主体で進めようとする取組の努力が認めら、特に多彩な事業が行われている。

今後については、文化活動の担い手を対象とする研修事業の実施や参加の状況も評価すべきというか、そういう取組を行って欲しい。

村瀬委員長

市民の主体的な芸術文化活動を促す支援が、継続し、充実していく状況にあることは評価できる。今後については、石狩市学び交流センターを拠点に、市の芸術文化活動が市民に周知され、一層広がりや質の高まりを見せていくことを望みたい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）10 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

平成 22 年度 of 取組状況について
市民文化祭など芸術・文化活動を市民主体で進めようとする努力が認められ、多彩で魅力的な取組が評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
石狩市学び交流センターを拠点に、文化活動の担い手育成につながる研修を実施するなど、芸術文化活動が一層市民に広がり、質が高まることを期待する。

=====

村瀬委員長

それでは、「施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実」について、各委員に意見を発表していただきたい。

木村委員

資料室のリニューアル事業など、市民を主体とした文化の伝承事業などが評価される。体験講座・野外講座などが活発に取り組み、内容も魅力的である。今後は、講座参加者が資料室等でボランティアとして参加することを進めるべきである。

村瀬委員長

厚田資料室の地域住民との連携した運営は評価できる。今後、市内にある3つの資料館の整備プランや学芸員の採用等について、前向きな取組を期待したい。

(上記意見が取りまとめられ、次のとおり外部評価委員の意見として決定した。)

施策（大項目）11 ふるさとを学び伝える取組の充実

平成 22 年度 of 取組状況について
地域住民と連携した資料室のリニューアル事業等、市民が主体となっていて行っている文化の伝承事業や体験講座・野外講座などが活発に取り組み、内容も魅力的であるなど評価できる。
分析・評価及び今後の方向性について
講座参加者が資料室等でボランティアとして参加してもらえるような環境づくりを図るとともに、市内にある3つの資料館の整備プランや学芸員の採用等について、前向きな取組を期待したい。

=====

村瀬委員長

これで議事を終了したい。ご協力に感謝する。

(15 : 00 終了)

平成23年10月13日会議録確定

石狩市教育委員会外部評価委員会

委員 村 瀬 千 檉